

市民環境力の更なる発展とすべての市民に支えられた「北九州環境ブランド」の確立



基本施策① 環境活動と地域活性化の好循環

【取り組むべき施策分野】

- ・市民・事業者のライフスタイル・ビジネススタイルの見直しに向け、普及啓発や取組支援を行います。
- ・地域におけるリサイクルや美化運動への取組支援など、地域コミュニティやNPOの活動を推進します。
- ・連携・協働を通じたサプライチェーン全体での事業者による環境活動を推進します。



「ていたんポイント」による市民の環境活動推進



地域におけるまち美化活動の推進

基本施策② ESD等を通じた環境人財の育成

【取り組むべき施策分野】

- ・就学前の子どもや高齢者も含めたESD・環境学習を推進します。
(環境学習施設や自然フィールドなどを生かした体験型プログラムや、環境首都検定、環境人財データの集積、北九州ESD協議会を中心としたESD(持続可能な開発のための学習)の推進など)
- ・北九州まなびとESDステーションやこどもエコクラブなどを通じた若者の横断的連携による市民環境力の更なる推進を図ります。
- ・市内大学、研究機関などと連携し、高度な環境人財育成のための基盤強化を図ります。



こども環境学習



エコライフステージ



環境首都検定

基本施策③ 市民間の対話・協働を通じた環境リスクへの対応

【取り組むべき施策分野】

- ・環境リスク等に関する対話を推進します。
（人や生態系への悪影響の可能性に対する関係者間の対話の促進、関係者間の円滑なコミュニケーションを図る観点からの市による啓発や実地測定といった迅速な現場対応の実施、専門家と市民・事業者の対話の促進など）
- ・環境に関する適切な情報の提供と環境リテラシーを養成します。
※リテラシー：与えられた材料から必要な情報を引き出し、活用する能力
（信頼性のある情報のタイムリーな提供、ていたんプレスなど様々な媒体を通じた環境基準や環境リスク情報など専門的な情報の提供など）
- ・協定や表彰、認定を通じて、事業者による自主的な環境リスク対応を推進します。

基本施策④ 国際協働等を通じた北九州環境ブランドの確立

【取り組むべき施策分野】

- ・国内外の関係機関と協働して、戦略的な環境国際協力の推進と国際的な環境ブランド力の強化を図ります。
- ・海外環境人財育成を通じた国際的なネットワーク形成を行います。
- ・全庁一丸となって環境分野の国際会議・国内イベントの誘致・開催につなげます。
- ・諸大学や企業との連携強化を進め、本市の有する技術面・政策面での強みを活かし、アジアの技術首都ブランドを確立します。



G 7 北九州エネルギー大臣会合

2050年の超低炭素社会と その先にある脱炭素社会の実現



基本施策① 超低炭素社会を支えるストック型社会への転換

【取り組むべき施策分野】

- ・産業界・都市構造も含めた徹底した省エネ・省CO₂を推進します。
(工場と街の連携といった産業都市の強みを活かした低炭素化、エネルギーマネジメントといったソフト・サービス産業の育成、コンパクトなまちづくりなど)
- ・太陽光発電、高効率設備の導入、ネット・ゼロ・エネルギーハウスなど、良質な地区街区・住宅・建築物ストックを形成します。
- ・都市部や拠点における緑化施策、森林の適正管理、放置竹林対策、自然景観の保護など、自然資本の維持と利活用を進めます。
- ・橋梁や上下水道施設などの長寿命化、老朽化施設の集約・廃止など、ストックマネジメントによる低炭素化を進めます。



城野ゼロ・カーボン先進街区



森林の適正管理による荒廃森林の再生

基本施策② 超低炭素社会を実現する社会経済・技術・ライフスタイルの イノベーションと産業クラスターの構築

【取り組むべき施策分野】

- ・再生可能エネルギーや水素、ICT/AI、人間工学・高機能素材等による超低炭素化技術開発と産業クラスターの構築を進めます。
- ・規制的手法・経済的手法等を通じた低炭素なライフスタイル・ビジネススタイルを推進します。(省エネ法等を踏まえた事業者の取組促進、ていたんポイントなどのインセンティブ制度の推進、市役所の省エネ・省資源の率先実行など)
- ・環境金融などの金融的手法の検討を進めます。

基本施策③ 次世代エネルギー拠点の総合的な形成

【取り組むべき施策分野】

- ・ **地域エネルギー拠点化を推進**します。
(洋上風力発電や太陽光発電、バイオマス発電、高効率火力発電などの導入促進、省エネの推進、風力発電産業の総合拠点の構築など)
- ・ **水素エネルギー活用**の推進を行います。
(響灘地区や東田地区での実証、水素ステーションや燃料電池自動車の普及など)
- ・ **地域エネルギーマネジメント・スマート化**を推進します。(地域エネルギー会社の拡大やスマート化、新たなエネルギーマネジメント技術の活用など)
- ・ **エネルギー人財育成・技術開発**を推進します。(研修や講座等による風力発電関連産業集積等を支える人財育成、大学や企業等と連携した技術開発支援など)



再生可能エネルギーの導入拡大



風力発電関連産業の総合拠点化



水素エネルギーの活用



地域エネルギー会社

基本施策④ アジア規模での超低炭素社会実現

【取り組むべき施策分野】

- ・ KITA (公益財団法人北九州国際技術協力協会) や IGES (公益財団法人地球環境戦略研究機関) などの関係機関や市内企業と連携し、**アジアの超低炭素化に向けた国際協力を推進**します。
- ・ アジア低炭素化センターが中核となり、**民間企業による海外展開を促進**します。

世界をリードする循環システムの構築



基本施策① 3Rプラスの推進と資源効率性向上

【取り組むべき施策分野】

- ・リデュース・リユース・高度なりサイクルを推進します。
(家庭や事業所からのごみ減量化、食品ロス削減、分別の徹底、産業廃棄物事業者の3R推進、太陽光パネル等の再資源化など)
- ・廃棄物処理プロセスにおける資源利用の効率化と廃棄物発電・熱利用の推進によるCO₂・エネルギー消費量削減を図ります。
- ・再生資源・再生可能資源の積極利用を進めます。
(建設リサイクル資材の利用促進、食品廃棄物由来の堆肥等の利用促進、表彰や普及啓発、未利用バイオマス等の資源・エネルギー利用など)
- ・適正処理の確保を進めます。(ごみ出しルール徹底などの普及啓発、排出事業者に対するサポート、不法投棄防止、漂着廃棄物の適正処理など)

基本施策② 循環システムを支える施設整備・技術開発と循環産業都市の形成

【取り組むべき施策分野】

- ・安定的・効率的なごみ処理体制・循環システムを支える施設整備とごみ処理の広域連携を推進します。
- ・産業・地域共生としてのエコタウン・循環産業の高度化を図ります。
(エコタウン事業の実績等を生かした太陽光パネルなど高度な再資源化、産業廃棄物処理業者の優良化・育成のための技術的・財政的支援の検討など)
- ・環境産業ネットワークの構築と大学等と連携した資源循環研究拠点を形成します。
- ・廃電気電子機器など途上国においてリサイクルが難しいものや、雑品スクラップなど貴重な資源を含みながら海外に流出している循環資源に関して、国際資源循環拠点の形成を目指します。

西日本のリサイクル拠点

- ・家電のリサイクル
- ・自動車のリサイクル
- ・ペットボトルのリサイクル

など 26 事業

次世代資源循環、地域循環圏の構築

太陽光発電CFRP

次世代自動車電池

古着

食品廃棄物

海外展開

アジア低炭素化センター

海外からの原料輸入 (電子基盤など)

再生品・リサイクルシステムの輸出



北九州エコタウン

小型家電の回収

基本施策③ 化学物質や有害物質の適正処理・適正管理

【取り組むべき施策分野】

- ・ **PCBの適正処理**を進めます。(JESCO 北九州事業所に対する指導・監督の徹底、他自治体への取組強化促進、低濃度PCB廃棄物の全量把握・全量処理など)
- ・ **水銀・アスベスト等の適正管理**を進めます。(排出規制・回収・適正処理など)
- ・ **化学物質管理**を進めます。(事業者による管理推進、市内の有害物質の把握など)
- ・ **フロン対策**を進めます。(法令に基づく適正処理の促進など)

基本施策④ 生物多様性の確保による自然循環

【取り組むべき施策分野】

- ・ **生態系の場・種の保全**を進めます。
(環境アセスメント制度等を通じた開発行為による生態系の劣化の防止、関係機関と連携した生態系情報の収集、希少種の保全など)
- ・ **森里川海保全への取組**を進めます。(ヒアリ等の特定外来生物への適切な対処、水源地の保全、鳥獣被害防止、地産地消の推進など)
- ・ **自然環境情報の深化・統合と人材育成、ネットワーク構築**を進めます。
(自然環境調査、GISデータベース構築、専門家とのネットワーク構築など)
- ・ **環境修学旅行やエコツアーなど豊かな自然の観光資源としての活用**を進めます。



100万本植樹プロジェクト



響灘ビオトープ



曽根干潟



平尾台

将来世代を考えた豊かなまちづくりと 環境・経済・社会の統合的向上



基本施策① 安全・安心でレジリエント（強靱）なまちづくり

【取り組むべき施策分野】

- ・法令に基づく監視・指導などを通じ大気・水・土壌環境等の保全を進めます。
- ・適正なアセスメントと公害防止施策を推進します。
- ・気候変動に対する適応への取組を進めます。
(国等と連携し影響の予測シミュレーション実施、関係局で連携した取組実施など)
- ・自立分散型エネルギーの活用、災害廃物対策など環境防災力の強化を図ります。



事業所への立入り調査



水質調査

基本施策② 環境と社会にやさしい快適なまちづくり

【取り組むべき施策分野】

- ・ストック資源を活用した景観の保全とおいしいのある街並みを形成します。
(ストックマネジメント手法を導入した良好な公共建築物の再活用、道路・橋梁などの長期メンテナンス推進、歴史的建造物の適切な保全・活用、空き家対策など)
- ・高齢者・障害のある人等に優しいコンパクトシティ・公共交通を推進します。
- ・セーフティネットの確保・コミュニティの活性化を目指します。
(フードバンク活動支援、リユース品の利用促進など)

基本施策③ 環境産業育成と国際的なビジネスの推進

【取り組むべき施策分野】

- ・地域経済循環圏の推進と環境産業における若年者・女性・高齢者の就職促進を行います。(域外へのエネルギー支出削減による地域内での経済循環推進、地元での再資源化物の積極利用、環境産業を含む地元企業への就職促進など)
- ・持続可能な生産と消費を推進します。
(北九州エコプレミアムの推進、エコアクション21などの認証促進、地産地消の推進、環境に配慮した消費者(グリーンコンシューマー)育成支援など)
- ・FAIS(公益財団法人北九州産業学術推進機構)や北九州市立大学等と連携した環境技術開発・産業創出・生産性向上を目指します。
- ・JCM等海外事業や国際協力を通じた環境産業の海外展開を図ります。



北九州エコプレミアムの認定



展示会での製品PR

基本施策④ SDGsの実現に向けた取組と環境ガバナンス

【取り組むべき施策分野】

- ・SDGs達成に向けたモデル都市化を推進します。
(国や他自治体との連携、市内事業者の取組支援、情報発信など)
- ・SDGs達成に向けた環境ガバナンスの強化を図ります。
(市役所内部の水平統合、企業・大学・研究機関など外部組織との連携強化など)



シンポジウムを通じたSDGsの発信



ていたんによるSDGsのPR